



第 26 回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3 か月に一度の頻度で開催し、毎回 2 名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。

記

日 時：2020 年 **12 月 11 日（金）** **14:00～16:00**

場 所：WEB 開催（zoom を使用します）

申込者には当日のアクセス方法を別途メールでご連絡いたします。

zoom が使用できない場合はご参加いただけませんのでご了承ください。

参加費：無料

主 催：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共 催：NPO 法人バイオグリッドセンター関西

後 援：関西医薬品協会

講演 I 14:00-15:00

「K 値を用いた解析で分かった新型コロナ感染拡大の特徴」

大阪大学 核物理研究センター長 中野 貴志

新型コロナウイルスとの戦いにおいて、人的および経済的損失を最小限に抑えるために、感染拡大の変化を迅速に検知し、将来を予測する方法を確立することが重要である。本講演では、感染拡大率を示す新たな指標として K 値を導入し、それを用いたマクロ解析により、日本における COVID-19 の感染拡大及び収束の特徴を他国との比較により浮き彫りにする。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「新型コロナウイルスの性状とワクチン開発の現状」

大阪大学微生物病研究所 分子ウイルス分野 教授 松浦 善治

我々はエイズ、インフルエンザ、SARS, MERS 等の発生を経験し、さらに、今回の新型コロナウイルスのパンデミックでは、いかに我々がウイルス感染症に対して無力であるかを思い知らされました。また、地球環境の変化やグローバリゼーションによる感染拡大、バイオテロ等で感染症の様相が人的要因によって大きく変容しました。本セミナーではウイルスを概説し、新型コロナウイルスの性状と、世界で進行中のワクチン開発の現状を紹介させていただきます。

【次回のご案内】

〈第27回〉

日時： 2021年3月2日（火） 14:00~16:00

場所： WEB開催

〈プログラム〉

14:00~15:00

「新型コロナウイルス等感染症検査用超高速リアルタイムPCRシステムの開発」

（国開）産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

先端フォトニクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリ

研究グループ長 永井 秀典

15:00~16:00

「スポーツ医学からの健康研究・情報科学とバイオインダストリー

: 東京オリンピックとCOVID-19を迎えて」

大阪大学大学院 医学系研究科 健康スポーツ科学講座

スポーツ医学教室 教授 中田 研

問合先：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（国松、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）